

全自動の湿度管理でケアに集中

クールジェッターウルム
大空間加湿システム COOLJetter® ULM



加湿にかかる職員の手間を軽減して施設利用者様のケアに集中できるようにしたかったんです。

導入事例インタビュー

特別養護老人ホーム慈光園 小倉 貴裕 様

ユーザー紹介 特別養護老人ホーム 慈光園様

奈良県で最初の特別養護老人ホームとして1965年に設立された慈光園様。

「人は互いに慈しみあい光あって生きていこう」を基本理念とし、思いやりと労りの心のごもった介護サービスで、高齢者の方々の豊かで安らかな生活を援助しておられます。今回は、慈光園様に導入いただいた加湿システム「COOLJetter®ULM(以下CLJ-ULM)」について、慈光園 事務総務課リーダーの小倉貴裕様にお話を伺いました。

■ 本格的な湿度管理はいつ頃から？

2012年6月くらいからですね。もちろんそれ以前にも一般的な市販の加湿器で加湿を行っていました。

高齢者の方は免疫力が弱いため、ちょっとした気温や湿度の変化でも体調を崩される場合があります。

当時は前年からインフルエンザとともにノロウイルスが流行していた年。施設利用者様の健康を守るためにもより高度な湿度管理が重要な課題でした。

■ 市販の加湿器で大変だったのは？

食堂やデイルームなどの広い空間も含めると、施設内に20台くらい設置していたと思います。

もちろん市販加湿器なのでタンク容量も少なく、湯水を防ぐため、1日に3回程度給水をする必要がありました。

1日に20台を3回も給水するのは、職員にとって相当な手間でしたね。

より高度な湿度管理が当時の重要な課題だったと言いましたが、同時に加湿にかかる職員の手間をできるだけ軽減して、施設利用者様のケアに集中できるようにもしたかったんですね。

■ CLJ-ULMをお知りになったのは？

当施設の園長が、新しい加湿器を探していたところ、インターネットで「CLJ-ULM」について詳しく説明されている御社のページを見つけたことがきっかけだったと思います。

■ CLJ-ULMの第一印象は？

当園と同じ規模の高齢者福祉施設にも実績があり、「目標湿度を達成した。」という良い反応が寄せられていることに好感を持ちました。

また、水道直結で市販加湿器のようにタンクに給水する必要がなく、タイマーや湿度センサーで自動制御ができるため、職員の手間の軽減にも期待を感じました。

■ お選びいただけた理由は？

やはり他の施設にも実績があり、実際に効果が出ていること。それから全自動で1日中加湿ができるので職員の手間がいらぬこと、あとはメンテナンスも年に1回なので、設備の維持にも負担がからぬことです。

■ 現在どのようにご利用ですか？

食堂やデイルームなど広いスペースを中心に、施設全体で計22台設置しており、自動制御で湿度45%を維持しながら1年中稼働しています。



【設置例1】広い空間の食堂

1日の稼働時間もタイマー制御を行っていて、入居者が起床されるくらいの時間、午前7時に加湿を開始し、お休み前の午後7時に加湿を停止するようセットしています。

特別養護老人ホーム 慈光園

〒635-0077

奈良県大和高田市大字池田444番地

※ユーザー様への直接のお問い合わせはご迷惑になりますのでご遠慮ください。

湿度管理が全自動になり、加湿にかかる職員の手間はほとんど無くなりました。

■ いけうちに一言

加湿器に限らず、新しい製品が出たらいろいろ紹介していきたいと思います。



【設置例2】居室が並ぶ廊下



大空間加湿システム

クールジェッターウルム

COOLJetter® ULM

3台で500m³を加湿可能。
自動制御で手間がかからない。

従来加湿が困難だった広い空間での加湿を可能にする、大噴量の加湿システムです。

噴霧する霧はセミドライフォグ(平均粒子径20~30μm)という微細な霧のため、壁や床、人を濡らすことはありません。

簡単運転自動運転機能により、運用にかかる作業者の負担を最小限抑えます。安心の導入実績多数の施設にて導入され、効果実証済み。安心してご検討頂けます。



本製品に関するお問い合わせ・資料請求・お見積りは下記まで。お気軽にご連絡ください。



フォグエンジニア
霧のいけうち®

http://www.kirinoikeuchi.co.jp/

株式会社いけうち 営業本部

いけうち CLJ-ULM

検索

〒550-0011 大阪府大阪市西区阿波座1-15-15・第一協業ビル

Fax:06-6538-4023

Tel:06-6538-4018

Mail:mist@kirinoikeuchi.co.jp



ISO9001:2008 認証